



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第132号

発行:2017年4月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会

新年度を迎えて

～ 地域の皆様に普遍的に信頼される鵬友会であるために ～
医療法人社団鵬友会 理事長 池島 秀明



ここ1年は、静岡県富士宮市へ訪れる機会が多く、富士山の季節の移り変わりを目にして参りました。富士山の雄大な勇姿が多くの人を感動させることは、日本人だけでなく近年は世界中の人々に理解されていると思います。そのような普遍的な富士山の姿を見ながら思うところは、我々医療法人社団鵬友会も、当法人の基本理念である『当会の設置経営する施設は永年医療業務に関与してきた立場より、この経験を活かしつつ「科学的で良質かつ適切な医療、看護、介護」を普及することにより、ソーシャルサービスの精神をもって地域の皆様から信頼される医療及び福祉に貢献すること』に則って、地域の皆様の健康の維持、児童教育に普遍的にお役にたてるように、毎年変わらず努力をして参りたいと思っております。

急性期一般病院の湘南泉病院では、ここ数年、横浜市二次救急輪番病院の一員として急性期医療の診断・治療力の向上に邁進してまいりました。その結果、近隣住民の方々、また地域医師会の先生方にも、信頼できる病院として一定の評価いただけるようになりました。今年度は聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、国立行政法人横浜医療センターを中心として地域基幹病院との連携を一層緊密に行い、また泉区の中核病院である国際親善病院とも連携を行い、横浜市西部地区の地域包括システムの中で地域の皆様のお役にたてる病院になることを目標により一層努力いたします。

医療療養型病院の新中川病院では、昨年度「病院機能評価の認定」を取得することができ、また慢性期医療療養型病院としての機能をより専門的に高め、人工呼吸器が必要な患者様を始めとする重度の症状をもたれる療養患者の皆様にも安心していただけるよう努力して参りました。今年度は、それに加え院内療養環境改善のため、施設内の追加整備や、医療充実を強化していくことにより、一層地域の皆様のお役にたてるよう努力いたします。

認知症専門病院の横浜ほうゆう病院では、従来と同様に認知症を患っている患者の皆様へのQOLに配慮した医療・介護の実践を行っております。地域の先生方との連携だけでなく、昨年度は年3回の認知症ケア研修など地域の介護研修会を積極的におこなって参りました。また昨年度より推進して参りました緊急入院を含めた入院までの待ち時間の短縮や、速やかな外来受診は一定の評価をいただいておりますが、本年度は横浜市認知症高齢者緊急一時入院事業を受託したことも含め、より緊急時に対応した体制作りや、地域医療・介護連携などで皆様のお役に立てるよう一層努力いたします。

一般病院のフジヤマ病院は、昨年度より鵬友会の一員となりました。「円滑な地域医療連携」を目標に、市内医療機関・富士市医師会の先生方との連携強化に努め、医療体制を強化いたして参りました。今年度は根本新院長が着任し今まで以上に地域に根付いた地域医療に貢献できるよう職員一丸となって邁進いたしま

す。

本郷クリニックでは、開設以来7回目の春を迎えます。瀬谷区本郷地区とその周辺の皆様の生活習慣病や呼吸器疾患を含めました内科全般を担当させていただいて参りました。今年度はなお一層、地域の皆様に信頼される地域のかかりつけ医としてお役にたてるようにより一層努力いたします。

介護老人保健施設阿久和鳳荘は、今までも在宅支援に取り組んできました。結果として同施設の通所リハビリテーションの充実や外部事業者等との関係性の構築に繋がり、在宅復帰者も着実に増加するなどの手応えは感じております。本年度は在宅支援への取り組みを着実に進めていき、在宅支援から看取りに至るまで幅広い視点から、地域で介護が必要な皆様に「老健」として、お役にたてるようにより一層努力いたします。

介護老人保健施設リバブルケア、介護老人保健施設いかる野は、昨年度より鵬友会の一員となりました。本年度も「円滑な地域介護連携」を目標に、地域の先生方との連携強化に努め、また地域で介護が必要な皆様方の希望に添えるように、地域の介護に携わる皆様との連携を強化し在宅支援を充実させ老人保健施設の役割をはたすため職員一丸となりにより一層努力いたします。

訪問看護ステーションのほうゆう訪問看護ステーション、介護支援事業所であるほうゆう介護支援事業所では、昨年度「住み慣れた自宅で快適な療養生活を送れるように、ひとりひとりの状態に合わせた看護、介護を提供する」とした取り組みに加え、小児や精神疾患を患われた患者様、利用者様などが快適に利用していただけるよう努力し一定の評価をいただくことができました。本年度は3つの目標（人材育成・訪問領域の拡大・自己評価）を掲げ、更に看護・介護の質及び、サービスの質をより一層充実させ、スタッフが一丸となって地域の皆様の在宅支援サービスのお役にたてるようにより一層努力いたします。

横浜市認可保育園であるほうゆう保育園は、認可保育園となり3年目を迎えます。今年度は定員60名を超えて66名でのスタートです。昨年より始めた幼児クラスの体育指導や人形劇の観劇も継続していきます。

「今日も一日楽しかった。明日も楽しみ。」と思える保育園を目指し、いろいろな遊びや経験を提供していきたいと思っております。

以上、本年度の鵬友会各施設の展望を申し述べて参りました。私ども鵬友会は、今後とも現状に甘んじることなく、さらなる向上を求めて職員一丸となって研鑽を積むことにより医療、福祉、保健、児童教育の分野での幅広い対応をはかり、普遍的に地域の皆様のお役に立つ医療法人を目指していきたいと思っております。ここにあらためまして皆様のこれまでの鵬友会へのご支援に深く感謝申し上げますと共に、鵬友会の発展のため、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度入職式/新採用者研修



池島 理事長

平成29年度入職式が4月3日（月）湘南泉病院会議室において執り行われました。法人内各施設から新入職者総勢36名が集まり、緊張の面持ちで新たな第一歩を踏み出しました。

まず初めに池島秀明 理事長の挨拶があり、「当法人が一番重点を置いているところは、地域の信頼を得ることです。その実現のため、各施設は困っている患者・利用者さんは必ず診るという方針でおこなっております。みなさんにとって、やりがいのある法人ですので、諸先輩方と協力し合い、頑張ってください。」と新入職者への期待を述べました。



【 会 場 】



池島 常務理事



三澤 看護部長



上村 課長

続いて、池島守 常務理事から『鵬友会組織の概要』についての講義、三澤利重子 湘南泉病院看護部長から『鵬友会で仕事をする時、求められる職業倫理』についての講義、後半は上村義孝 課長から、社会人としてのマナーなどの接遇研修を行い、式は終了しました。



鵬友会と合併し新たなスタート！

平成29年4月1日（土）医療法人社団富士恵仁会は当法人と合併し、医療法人社団鵬友会としてスタートしました。合併初日、池島秀明 理事長より各役職者に辞令交付があり、その後、職員一同の前で、池島秀明 理事長、フジヤマ病院の根本慎一郎 院長、介護老人保健施設いかる野の佐々木 學 施設長、介護老人保健施設リバブルケアの今村 徹 施設長（フジヤマ病院副院長兼務）、フジヤマ病院の大石祐道 医局長兼診療部長が挨拶をしました。各々いままで以上に地域医療・介護に貢献していく意気込みが感じられる挨拶内容で、職員一同に団結（協力）を呼びかけました。



池島 理事長



【 会 場 】



根本 院長



佐々木 施設長



今村 施設長



大石 医局長

- ・フジヤマ病院（静岡県富士宮市原683番地の1）
- ・介護老人保健施設 リバブルケア（静岡県富士宮市原682番地）
- ・介護老人保健施設 いかる野（静岡県富士宮市原709番地）
- ・居宅介護支援事業所 フジヤマ（介護老人保健施設いかる野施設内）

